

浄願寺だより

R4冬No.17

遠方にお住まいのご門徒さんから定期的に近況を聞かせてほしい、とのご要望があり、このたびは浄願寺だよりとしてお寺をとりまく身近な出来事を取りまわめてお知らせしようと思えます。夏冬二回発行を予定しています。

令和四年二月十九日発行

編集責任者

浄願寺住職 関秀

じたばたしなくて

いいんだよ

昨年、あるご門徒さんのお家にお盆参りに伺いましたとき、そのお家の九十才になられるおじいさんが一緒に参りくださいました。

その頃も随分とコロナの感染者が多かった時でしたので、いろいろと思う所のあった私は、そのおじいさんに思わずこんな質問をしました。

「おじいさんは、九十年の人生で戦争も経験し、食糧難や、伝染病や、災害や、あらゆる苦難の時代を生きて来られたが、こういう混乱の時代を私たちが生き抜くために、一番大切なことはいったい何でしょうか？」

おじいさんは、少し考えて答えられました。

「じたばたせんこと…。」

いま、テレビも新聞もインターネットも、私たちの不安をおおる情報でいっぱいです。もちろん気を付けなくてはならないことは、しっかりと気を付けていくべきですが、私たちの力ではどうにもならないことまで、心配させられ、不安を植え付けられているような気がしてなりません。そして、テレビの中の誰一人として、「こういう時は、じたばたせんことだよ」と私たちが安心させてくれる人はいないのです。

お仏壇の前に座り手を合わせていますと、「じたばたしなくていいんだよ。そのまま生きればいいんだよ。」という仏さまの声が聞こえて来るようです。この情報過多の時代にあつて、自分の力ではどうにもならない、病や老いの不安に操られ、右往左往させられている私たちが、いま最も聞きたかった声ではないでしょうか。

お念仏の中に仏様の声を聞きながら、それでも、じたばたして日々を送る自分に気がつかされたり、少しでも落ち着かされた生活が出来るように心がけたりしながら、いただいた今日を精一杯に生きたいと願わずにはおれません。

むみようじようや とうい
無明長夜の灯炬なり

ちげん
智眼くらしとかなしむな

しょうじたいかい せんばつ
生死大海の船筏なり

ざいしよう

罪障おもしとなげかざれ

親鸞聖人

〈意識〉我欲にとらわれたこの身においては、仏さまのような、まことの眼はないけれど、心配しなくていいんだよ。我執に満ちたこの身と気付かされるとき、苦海の闇で惑うこの私を、阿弥陀様の願いの船が、かならず乗せて、さとの浄土へ導いてくださる。まるで、闇夜にもなる灯台の灯のように。

いま、時代をこえて親鸞聖人の言葉が、胸に響いてまいります。

令和四年一月 住職

わかち合う心を

次代に伝える

長期化するコロナ禍にあつて、浄願寺の「ともしび会」(竹下俊明会長)を中心に、経済的に困難を抱える家庭や子供たちに、余剰となつている食品や物資を送る活動を呼びかけていただきました。

その結果、お米・もち米約二百キロ、タオルやお菓子、手縫いの雑巾など、多くの物資や寄付金を寄せていただき、市の社会福祉協議会や、「おてらおやつクラブ」という全国のお寺で作る子供の貧困対策ネットワークを通じて必要とされている家庭や子供食堂等に送らせていただくことができました。

たまたま今、富める人も貧しい人もいるけれど、仏様の下ではみな平等、助け合つて当たり前。現代人が忘れかけているそんな心を子供たちに伝える大切な活動だと思ひます。

ともしび会では今後もまた定期的に寄付の募集は続けられるとのこと。この活動を立案し、

皆さんに呼びかけて実現してくださつた、竹下俊明会長をはじめ役員の方さま、寄付にご協力くださった皆さまにあらためて、感謝と敬意を表します。



本堂に集まった沢山の食品や物資。仏さまにお供えをしておさがりをそれぞれの家庭や団体にお送りしました。

お寺の掲示板

思ひだそう

共に生きる

よろこび

変わりゆく形、変わらない心。



ふるさとの杜墓苑
永代供養墓

www.furusatonomoriboen.co

編集後記

上の娘が四月から中学生になります。まわりの人からは、「もうすぐお父さんとは話をしてくれなくなるよ」なんて脅されていますが、いまのところ、話しかければ素直に「はい」と返事してくれます。先の心配はしないでおきましょう。人生、何があるかは分かりません。「未来を憂い、過去を懐かしんで生きる人は多いが、肝心の今を生きている人は少ない」とはお釈迦さまの言葉です。子育てもまた、かけがえのない「今」を伝えてくれます。

浄土真宗本願寺派
笹尾山浄願寺

〒620-0925
福知山市上篠尾725
電話(0773)-22-5280
email jyouganjiweb@gmail.com
http://www.jyouganji.com

住職 関 秀法